

# Cisco ECEのカスタムヘッダー問題のトラブルシューティング

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[HTTP 500.19内部サーバエラーのトラブルシューティング](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco ECE Webサーバのweb.configファイルのトラブルシューティング方法と、ファイルが破損または変更された場合の一般的な500.19内部サーバエラーの解決方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Email & Chat Server(ECE)
- Microsoft Internet Information Services ( IIS )

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco ECE 11.6に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## HTTP 500.19内部サーバエラーのトラブルシューティング

URL:<http://localhost/system/web/apps/login/>

## HTTP Error 500.19 - Internal Server Error

The requested page cannot be accessed because the related configuration data for the page is invalid.

### Detailed Error Information:

<b>Module</b>	ProtocolSupportModule	<b>Requested URL</b>	http://localhost:80/system/web/apps/login/
<b>Notification</b>	SendResponse	<b>Physical Path</b>	C:\ECE\Service\web\apps\login\
<b>Handler</b>	ApplicationRequestRoutingHandler	<b>Logon Method</b>	Anonymous
<b>Error Code</b>	0x800700b7	<b>Logon User</b>	Anonymous
<b>Config Error</b>	Cannot add duplicate collection entry of type 'add' with unique key attribute 'name' set to 'X-UA-Compatible'		
<b>Config File</b>	\\?\C:\ECE\Service\web\web.config		

### Config Source:

```
5: <customHeaders>
6:   <add name="X-UA-Compatible" value="IE=EmulateIE9" />
7: </customHeaders>
```

### More Information:

これを解決するための手順を次に示します。

ステップ1: すべてのサービスがECE展開のすべてのサーバでアクティブであり、プロセスが停止状態でないことを確認します。

ステップ2: この場合、エラーがカスタムヘッダーを参照している場合、ほとんどの場合、何が変更されて接続が切断されたかを追跡することが困難であるため、障害のあるファイルを交換することをお勧めします。

そのためには、C:\inetpub\wwwroot\web.configに移動します

次の行を検索します。

```
<action type="Rewrite" url=http://<FQDN>:9001/system/web/logRewriteUrl="true" />
```

ステップ3: コピー: <http://<FQDN>:9001/system/web/>にアクセスし、アクセスを試みます。出力は次のようになります。

## Error 404 - Not Found.

No context on this server matched or handled this request.  
Contexts known to this server are:

- [/system/cb/cs → o.e.j.w.WebAppContext@79351f41{/system/cb/cs.file:///D:/ECE/jetty/work/12.0.1.3/cs.war/webapp/AVAILABLE}{/cs.war}](#)
- [/system/cb/stps → o.e.j.w.WebAppContext@5c134052{/system/cb/stps.file:///D:/ECE/jetty/work/12.0.1.3/stps.war/webapp/AVAILABLE}{/stps.war}](#)
- [/system/cb/cdn → o.e.j.w.WebAppContext@e4348c0{/system/cb/cdn.file:///D:/ECE/jetty/work/12.0.1.3/cdn.war/webapp/AVAILABLE}{/cdn.war}](#)
- [/system → o.e.j.w.WebAppContext@5c97da56\[eGainService/system.file:///D:/ECE/jetty/work/12.0.1.3/eService.war/webapp/AVAILABLE\]{/eService.war}](#)
- [/system/cb/shsvc → o.e.j.w.WebAppContext@fd10007{/system/cb/shsvc.file:///D:/ECE/jetty/work/12.0.1.3/shsvc.war/webapp/AVAILABLE}{/shsvc.war}](#)
- [/system/cb/admin → o.e.j.w.WebAppContext@7dd5d17a{/system/cb/admin.file:///D:/ECE/jetty/work/12.0.1.3/admin.war/webapp/AVAILABLE}{/admin.war}](#)
- [/system/profiles → o.e.j.w.WebAppContext@645b2ac7{/system/profiles.file:///D:/ECE/jetty/work/12.0.1.3/profiles.war/webapp/AVAILABLE}{/profiles.war}](#)
- [/system/cb/s → o.e.j.w.WebAppContext@7fd429f3{/system/cb/s.file:///D:/ECE/jetty/work/12.0.1.3/s.war/webapp/AVAILABLE}{/s.war}](#)
- [/system/cb/iktsvc → o.e.j.w.WebAppContext@5fc6665d{/system/cb/iktsvc.file:///D:/ECE/jetty/work/12.0.1.3/iktsvc.war/webapp/AVAILABLE}{/iktsvc.war}](#)

注: この形式のデータにアクセスして取得できる場合は、アプリケーションサーバにアクセスできることを意味します。

web.configという名前の2つのファイルがあります。1つはサーバに対してローカルであり、もう1つは置き換えが不要です。もう1つはグローバルであり、置き換え可能です。

このファイルはサーバーに対してローカルであり、決して置き換える必要はありません。ただし

、を使用して、アプリケーションサーバーがアクセス可能かどうかをテストできます。

C:\inetpub\wwwroot\web.configファイル

このファイルは交換可能であり、エラーが発生した場合は、このファイルの場所もfaultyと表示されます。

C:\ECE\eService\web\web.config

ステップ4：正常に動作するファイルまたはラボ環境をC:\ECE\eService\web\web.configからコピーし、該当するサーバC:\ECE\eService\web\web.configにコピーします。

注：適切なコピーがない場合は、Cisco TACに連絡して、ラボファイルのコピーを入手してください。

ステップ5：ファイルを置き換えた後、ポータルにアクセスできる必要があります。必要に応じてWebServerを再起動します...